

公開シンポジウム「疾病構造の変化を見据えた歯科医療の展開」

1. 主 催：日本学術会議 歯学委員会 臨床系歯学分科会
2. 共 催：日本歯科医学会、日本歯科医療管理学会
3. 後 援：特定非営利活動法人日本歯科保存学会、社団法人日本補綴歯科学会、社団法人日本口腔外科学会、日本歯科理工学会、特定非営利活動法人日本歯科放射線学会、特定非営利活動法人日本歯周病学会、有限責任中間法人日本障害者歯科学会、有限責任中間法人日本老年歯科医学会
4. 日 時：平成 20 年 1 月 25 日（金）13:00～18:00
5. 会 場：日本学術会議 講堂

6. 議事次第

開催趣旨

近年の急速な高齢化と生活環境の変化にともなう、疾病構造は急性症状をとともなう感染症から生活習慣と深いかかわりを持つ慢性疾患へと変化している。そのような疾病構造の変化に対応した歯科医療を展開するためには、高齢者に特有の生活習慣と口腔疾患に関する深い理解が必要である。一方、著しい少子化が進むなかで、小児・青少年期よりのう蝕の予防・治療のみならず、生涯における健康と QOL の維持のための礎となる健全な歯列・咬合の育成へのニーズは極めて高い。以上の観点から、少子・高齢化社会における歯科医療の意義と将来の方策を展望する二部にあたるシンポジウムを開催する。

7. プログラム

1) 開会の辞および基調講演

13:00～ 渡邊 誠（日本学術会議第二部会員、臨床系歯学分科会委員長、東北大学副学長）

2) シンポジウム I：高齢者のニーズに応える歯科医療

司会ならびに座長

古谷野 潔（日本学術会議連携会員、九州大学教授）

市川哲雄（日本学術会議連携会員、徳島大学教授）

13:30～ (1) 「よく老いる” ための口腔疾患治療の考え方」

松下 健二（国立長寿医療センター研究所、口腔疾患研究部長）

13:55～ (2) 「高齢者におけるバイオフィルム対策」

恵比須 繁之（日本学術会議連携会員、大阪大学教授）

14:20～ (3) 「高齢者の咬合維持・回復のフロンティア」（仮題）

赤川 安正（日本学術会議連携会員、広島大学教授）

14:45～ (4) 「高齢者の ADL に対応した歯科医療」

植松 宏（日本学術会議連携会員、東京医科歯科大学教授）

15:10～ (5) 討 論

15:30～15:50 休 憩

3) シンポジウム II：小児・青少年期の健康な口腔の育成

— エビデンスに基づく先進的予防・治療 — （仮題）

司会ならびに座長

山本照子（日本学術会議連携会員、東北大学教授）

朝田芳信（日本学術会議連携会員、鶴見大学教授）

15:50～ (1) 「「小児う蝕の撲滅を目指して」大嶋 隆（大阪大学教授）

16:15～ (2) 「先進的医療技術開発推進に係る関連施策の動向」

中谷 祐貴子（厚生労働省 研究開発振興課 課長補佐）

16:40～ (3) 「歯の硬組織の疾患予防と再構築における技術革新」（仮題）

田上 順次（日本学術会議連携会員、東京医科歯科大学教授）

17:05～ (4) 「健康な歯列・咬合の育成と食育」

山本 照子（日本学術会議連携会員、東北大学教授）

17:30～ (5) 討 論

4) 閉会の辞

17:50～ （瀬戸暁一 日本学術会議第二部会員、歯学委員会委員長、
鶴見大学教授）